

建築學會  
3. 10. 23  
交付

# 滿洲建築協會雜誌

第十三卷 第八號

8

社團法人滿洲建築協會發行

昭和十八年八月十五日發行（每月一、四、七、十、十三、十六、十九、二十二、二十五日發行）

---

# ホロータイル

---

# フェイスブリック

---

礦 滓 カ ッ ト

---

鋪 道 煉 瓦

---

スクラッチタイル

---

カ ッ ト タ イ ル

---

機 械 製 煉 瓦

---

普 通 煉 瓦

---

專賣  
特許 鐵 筋 煉 瓦

---

## 營 口 煉 瓦 製 造 所

大 連 工 場	大連市管内西山會三春柳一 電話九〇九七番
周 水 工 場	大連市管内周水屯周家屯
大 連 出 張 所	大 連 市 越 後 町 二 八 電話三九〇五番
馬 車 配 給 所	大 連 市 財 神 街 三 電話七七五八番

---

# 滿洲建築協會雜誌

第十三卷  
第八號

## 目次

### グラフ

滿博建築館  
新興俱樂部

### 本文

- 建築館に就いて……………鈴木正雄…( 1 )  
新興俱樂部新築工事概要……………Y. Kusano…( 7 )  
滿博建築裝飾雜感……………五葉會同人…( 8 )  
滿博建築座談會……………編輯部…( 10 )  
圖式解法の工夫一題……………鷺尾健三…( 18 )  
故荒木清三君遺影……………( 21 )  
故荒木清三君に對する追憶……………岡大路…( 22 )  
古き思ひ出……………小黑越翁…( 25 )  
追悼伊藤清造學兄……………村田治郎…( 27 )  
建築館出品目錄……………( 31 )

### 會報

新入會者・會員移動・編輯部委員會・主記計畫聯合委員會・評議員會・大會委員依囑・大會各係  
協議會・荒木清三氏の訃・陳列所の内容更新・滿博建築座談會・新京建規委員會・交換雜誌

編輯後記……………編輯部  
表紙……………草野氏

——編輯後記——

□ 前號特輯「滿博グラフ」は書記長の見學團隨行で不在であつたことなどが主なる原因でもあり、印刷技術の點にも遺憾な次第があり、且つ用紙の選擇を誤まつたなどの理由が重なつて案外尙相なものになつて仕舞ひましてガツカリ致しました。編輯部がガツカリしたよりは會員各位に對して折角の機會、折角の好資料があつたの不幸で誠に相濟まぬことでありました。此段不惡御宥恕を願上ます。

□ 本號は博覽會の委任によつて本協會が經營致しました。第二號別館内の「建築館の」圖版紹介と該館に關する主任者の解説的記事並に博覽會の建築に關する編輯部委員の座談會記を主にし、之に構造計算に關する研究的記事等を以つて纏めました。

□ 従つて博覽會に就いては前號と本號とを以つて編輯部としての任務を終つたことに御了解を願ひます。

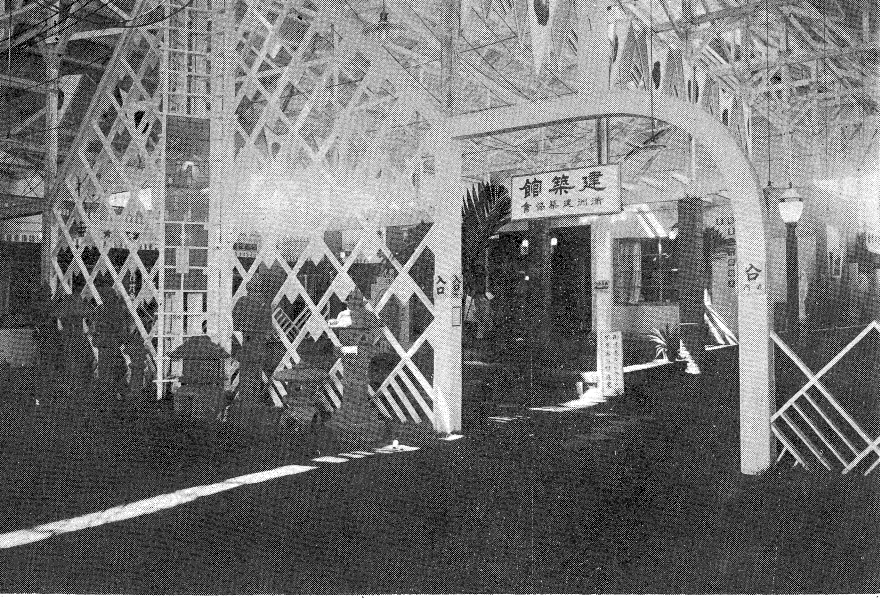
□ 本號は號次から云へば第八號—八月分でありますから、まる二月遅れてゐますが、第九號は大會號として既に編輯を終り、本號と同時に印刷に廻付しましたから、殆んど同時に出せる事と思つてゐますから十月中には凡そ取返へしがつくと存じます。

□ 編輯資料には行詰りを訴へる程でもありませんが、決して潤澤といふところまでは進むてゐないのを遺憾に思ひます。編輯部の會議が委員の責任執筆を決める爲に開かれるといふ時代から進んで、有り餘る資料を如何に編纂するかを協議する處まで進ませ度いと切望してゐます。

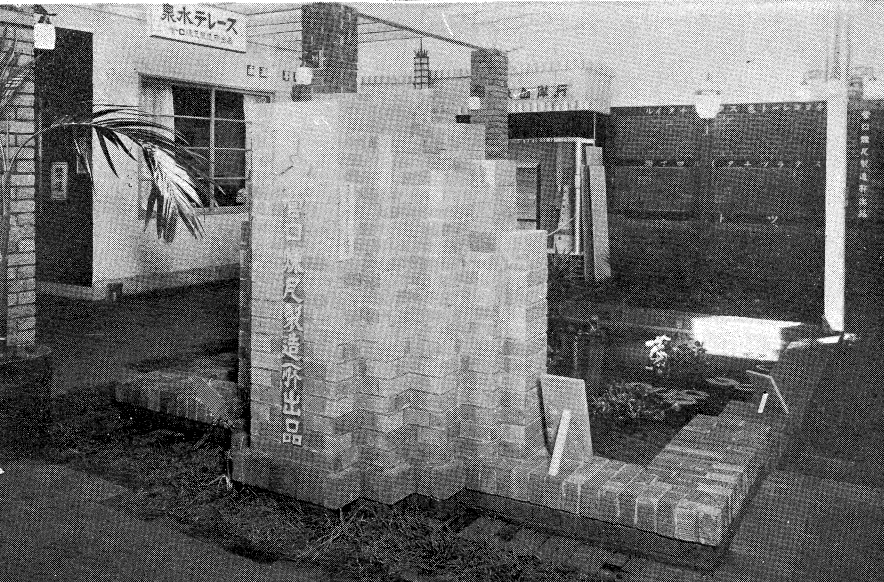
□ そのためには、何といつても會員各位から盛に御審稿を願はなければなりません。研究的な纏つた論文などいふことになると、今日の滿洲ではさう澤山出来るものとも思はれませんが、全滿洲では兎も角これだけの建築が日に日に出來て行くのですから、これに携はつてゐる人々の間から何なり共資料がないといふ筈はないのですが、何うしたらさういふものを蒐集する事が出来るか、御氣付きの點を御遠慮なくお聞かせ下さる様にお願致します。

□ 金風颯々白露纒々、滿洲大平原の秋方に酣、従つて工界一入多忙を加へんとする時、各位の御健闘をお祈申上ます。

別館第二號廣間より見たる建築館



泉水・テレースの景觀  
營口煉瓦製造所工作



同  
上  
詳  
細